

お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 裂孔原性網膜剥離の手術成績の検討 |
| 実施予定期間 | 倫理審査委員会承認後 ～ 2028年3月31日 |
| 研究の対象 | (対象期間・対象診療科・対象疾患) 2016年1月から2023年12月までに鹿児島市立病院 眼科で手術治療を施行した裂孔原性網膜剥離の方 |
| 使用する情報等 | 患者基本情報 ：年齢、性別、術眼、全身既往歴（抗血栓薬服用の有無を含む） 等 術前所見 ：網膜剥離の推定原因、裂孔形態、推定発症日（推定剥離期間）、黄斑剥離の有無と期間、眼科手術既往、眼軸長、術前視力、術前屈折値（等価球面值）、術前眼圧、水晶体の状態、網膜剥離範囲、最大裂孔位置、網膜裂孔数、脈絡膜剥離の有無、後部硝子体剥離の有無、網膜剥離重症度（増殖硝子体網膜症のステージ） 等 手術情報 ：手術日、麻酔法、術式（硝子体手術、強膜内陥術、両者の併用）、白内障手術併施と使用眼内レンズ度数、目標屈折値（等価球面值）、内境界膜剥離併施、硝子体皮質剥離の有無、意図裂孔作成の有無、手術補助剤の使用の有無、術中凝固の種類と数、タンポナーデの種類、術中合併症、術中特記事項 等 術後経過 ：視力経過（術後1、3、6、12か月）、最終屈折値、術後合併症、経過観察期間、再手術の有無と理由、初回手術から再手術までの期間、再手術術式 等 |
| 研究の概要 | 2016年から2023年に当科で裂孔原性網膜剥離手術を施行されたすべての症例を対象として、術前所見、手術情報、術後1年までの治療転帰を含めた調査を行い、網膜剥離症例の年齢や性別の分布、病型や重症度などの特徴、術式選択の違い、初回復位率（1回で治る割合）や視力転帰、合併症の特徴や発生状況、再手術の状況を明らかにすることが目的である。J-RD Registry（2016年から1年間、本邦の26施設で施行された裂孔原性網膜剥離に対する臨床疫学研究）の調査結果よりも長期の転帰を示しうることは臨床上大変有意義と考えられる。 |
| 倫理審査 | 鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。 |
| 個人情報の保護 | 収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。 |
| 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 |
| 結果の公表 | 研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。 |
| 知的財産権 | 本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。 |
| 研究の資金源 | 本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。 |
| 利益相反 | 特にありません。 |
| お問い合わせ先・相談窓口 | 病院ホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。 なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困 |

| |
|---|
| <p>難になる場合があります。 研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。</p> |
| <p>研究責任者 氏名：山切 啓太 所属：眼科 連絡先：鹿児島市立病院 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号 TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p> |